

P T A 会報

賓根

編集・発行No.131

 奈井江商業高校
P T A 事務局

 奈井江町南町2区
TEL 0125-65-2239
FAX 0125-65-2350

卒業生の皆様へ


 P T A 会長
鈴木 宏明

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
保護者の皆様には、お子様が立派に成長され卒業を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。また、校長先生をはじめ諸先生方、職員の皆様には、3年間ご指導をいただき、保護者を代表して厚くお礼申し上げます。

春の息吹を感じる3年前の4月、皆さんはそれぞれの想いを胸に、この奈井江商業高等学校に入学し、勉強や部活動、学校祭、体育祭など様々な場面で、仲間たちと共に喜び、笑いあい、時には思い通りにならず悔しい思いをしたことでしょう。最終学年では、新型コロナウイルスの影響による臨時休校や各種行事の中止、縮小など大変な1年となりました。戸惑いや不安がある中で逆境に負けることなく学校生活を送り、皆さんが大きく成長されたことと思います。

ます。

社会情勢の先行きが不透明なコロナ禍において、4月から大学や専門学校に進学される方、就職して実社会に向かわれる皆さんの道のりは決して楽なものではなく、苦労や悩みが多いものと思われます。この困難な時代だからこそ奈井江商業高等学校で学んだことを糧に粘り強く最後まで諦めないで乗り越えていくことを期待しています。
卒業生の皆様の輝かしい未来を心より祈りいたします。



体育大会後の抽選会

大海よりも広大なものは
大空である
大空よりもなお広大なものは
人の心である


 校長
佐藤 雅人

新型コロナウイルス(COVID-19)は未だに猛威を振るい、見通しがつかないまま令和2年度が終わりを迎えるようになっています。さらに追い打ちをかけるように空知管内(特に岩見沢から奈井江にかけて)に集中的に降る雪の除雪のために心身共に疲れてしまう日々です。

そんな厳しい環境の中でも子ども達は、今年一年、元気に高校生活を過ごしてきました。

一番辛い思いをしたであろう3年生も、不平不満を言うことも無く最後の高校生活を過ごしてくれました。進路についてもほぼ全員が内定をいただき、今、新たな旅立ちに備えています。

2年生もなんとか見学旅行を実施することができました。

奈良の薬師寺のお坊さんに負けないほどのやりとりに盛り上がりとともに広島の平和公園では改めて平和の尊さを学んできました。

1年生も若さいっぱい体育大会や球技大会では先輩達を圧倒するとともに検定取得に向けて頑張ってきました。

今年度は教頭先生と2人で管内の中学校を訪問してきました。どの中学校も「奈井江商業高校に送って良かった」と、本校の教育力について高い評価をいただき、改めて教職員熱く熱心な指導を実感することができました。ぜひ安心して本校へお子様を預けていただけたらと願っているところです。

さて、このタイトルの言葉は、フランスの文豪ビクトル・ユゴーが残した言葉です。

急速に発達した通信機器と国際化、少子・高齢化を迎えた現在、親子や人間同士のふれあいが希薄化しています。その結果、コミュニケーション力が弱まり、自ら考え行動できない子どもが増えているとも言われています。

これからの学校には、基礎学力の定着、思考力・判断力の育成とともにたくましく生きる力と豊かな人間性を身に付けさせることが求められています。

時には意見の違いで口論となることもあるでしょう。でも相手の意見をしっかりと受け止め、その時の最善の策を導くためには他人を受け入れる大きな懐を持つことが大切であると考えます。

そんな子どもたちを育てるためにも今以上に先生方の資質向上を図り、プロ意識を持った教師集団の育成と保護者や地域に愛され、理解と協力を得られる学校づくりをしていきたいと考えています。

本年、本校は開校70周年を迎えます。これからもPTA、同窓会そして地域関係者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますと同時に奈井江商業高校の子どもたちを温かい目で見守っていただきますよう重ねてお願い申し上げます。

乗り越えることの大切さ

3学年 担任
一瀬・亜澄

3月は巣立ちの季節。3年間の高校生生活を終えた18名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、卒業の門出を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。また、保護者の皆様からいただきました、これまでのご支援・ご協力に對しまして、深く感謝申し上げます。

「教師になって母校で担任を持つ」と夢を抱いて本校を卒業したのが25年前。長いこと教員採用試験に受からず、期限付き教諭として勤務していました。毎年薄っぺらい結果通知に努力不足を突きつけられては「仕事しているから勉強する時間がない」と自分自身に言い訳をしていたことを思い出します。「教員になって母校で担任を持つ」という思いだけで12年間も教員採用試験を受け続け合格することができたのは、支えてくれた高校時代の先生方、先々の学校で出会った先生方、生徒たち、そして、応援し続けてくれた家族の存在があったからです。諦めなかったから教師になることができた。諦めなかったから母校に戻ってくることもできた。諦めなかったからみんな

な担任になることができた。

…あの時、逃げなくて良かった…
そんな経験から「嫌なこと（やりたくないこと）から理由をつけて逃げないでほしい。逃げてもまた同じ壁にぶつかる。『自分の課題』だと思って乗り越えてほしい。成長するってそういうこと。だから逃げるな。向き合えるようになれ」という思いで担任をしてきました。

君たちがこれから踏み出す社会は甘くない。楽しいことや満足できることよりも、辛いことや厳しいことの方が多い。でもそんなとき、乗り越えることができた経験があるかどうかで、人生が変わることがあります。だから、経験してこそ得られるものを逃さないでください。辛いつきに家族の支え、友達との繋がりが、今までの学校生活を振り返り経験してきた二つの事柄を思い出して、より一層自分を磨き困難を乗り越えて輝かしい未来に進んでください。

母校で初めて担任を持ったみんなの存在は大きく、みんなと過ごした時間や経験はかけがえのない財産です。

☆うちの子 一番☆

幸せて充実した3年間のありがとう。



この3年間を振り返って

3学年
新川 日那汰

様々な出来事があった私の3年間の高校生活は、あっという間に過ぎていきました。

3年前、奈良江商業に入学して最初の1年はクラスメイトと早く馴染める様にとある意味必死でした。

それはもう皆同じ気持ちだったと思います。けれども当時は同じクラスの皆さんが互いに恥ずかしがるというか、声を掛けたいけれどどう話して良いかわからないといった雰囲気があったのを覚えています。私も同じでした。しかしそんな緊張した毎日でも長くは続かず、入学から2週間もした頃には、今と変わらない程、皆が打ち解けていました。

高校生活で一番に思い出に残っているのは、3年間の様々な行事です。入学前から高校の学校祭や体育祭、修学旅行は特に楽しみにしていた行事でした。クラスみんなで協力して一つの目標に向かって頑張ることはとても楽しかったですし、どんな結果になろうとそれまでに努力してきた毎日が忘れられない素晴らしい思い出になりました。

私は無事、岩見沢市の積水化学北海

道に内定が決まりました。

今回の就職の決め手は「気持ち」だと思っています。もちろん企業について理解を深めておくのも大切です。しかし、まずは自分がその企業の仕事にどのような思いを持っているのか。またどのような思いで働こうと思っているのかを相手にしっかりと伝える事。これが一番大切だと思っています。

3年間の高校生活を終え、これから社会人として生きていく私はこの学校で学んできた毎日を忘れずにこれからも明るく生きていこうと思います。

これまで支えてくれた先生方、地域の皆さん、ここまで育ててくれた家族のみんな、本当にありがとうございました！



進路指導部より

「今年度の進路活動を振り返って」



進路指導部長

畑

仁

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、求人数の減少が不安視されましたが、案の定、昨年と比較すると2割ほど減少しました。特に、ホテルや遊戯施設を始めとする接客業は大きく減少しており、新型コロナウイルスの影響がこの空知にも及んでいることが感じられました。

しかしそんな中でも、就職希望者は11月中には全員内定をもらうことができ、履歴書作成、面接練習に全力を尽くしてきたことが、結果に現れたのではないかと思っております。

次に進学についてですが、今年の3年生は例年になく進学希望者が多く、半数以上の生徒たちが進学希望でした。これは新型コロナウイルスによる求人数の減少とは関係なく、以前から生徒自らが上の学校に行つて専門的な知識を身につけてから社会人になりたい、という気持ちを強く持っていたことが大きいと思っています。

さらに、少しでも保護者の負担を軽減しようとして、多くの生徒たちが特待生試験にチャレンジしました。その結果、そのほとんどの生徒たちが授業

料減免等の措置を受けることになり、中には70万円もの減免を受けることが決まった生徒も複数現れ、2月1日に希望者全員が合格することができました。

進路指導部はすでに来年度を見据え、現在の2年生の進路実現のために動き出しています。今年の2年生は、3年生と比較すると「就職か進学か迷っている」という生徒が多い傾向にあります。遅くとも年度内には、進学するのか就職するのか、進学するのであればどんな学校にするのか、就職するのであれば、その地域や職種をどうするのか、そのあたりを是非ご家庭で相談されることを願っています。その上で、今何をやらなければならぬのかということも合わせて考え、その実現に向けて努力を続けることが大切だと思います。

令和2年度 3年生進路決定状況(令和3年2月末現在)

			男	女	計
進 学	大 学		4	0	4
	短 期 大 学		0	1	1
	専 修・各 種 学 校		0	5	5
	合 計		4	4	8
	未 決 定 者		0	0	0
就 職	民間企業	空知管内	4	2	6
		道 内	0	0	0
		道 外	0	0	0
	公 務 員		1	0	1
	合 計		5	2	7
	未 決 定 者		0	0	0

令和2年度 進路合格・内定状況

令和3年2月末現在

<進学先>

《大 学》

北海道情報大学 2名

札幌学院大学

北翔大学

《短期大学》

札幌国際大学短期大学部

《専修・各種学校》

北海道介護福祉学校

旭川福祉専門学校

札幌マンガ・アニメ&声優専門学校 2名

経専医療事務薬業専門学校

<就 職>

砂 川 市 吉川食品株式会社

有限会社 ほんだ菓子司

芦 別 市 株式会社 芦別スターライトホテル

上砂川町 マイクログラス株式会社 北海道工場

浦 臼 町 有限会社 神内ファーム二十一

岩見沢市 積水化学北海道株式会社

公 務 員 陸上自衛隊 自衛官候補生



修学旅行の感想



2学年

古澤 佑斗

今年の修学旅行は、コロナウィルスの影響で、行く場所が寺や城ばかりだったのが少し残念でしたが、楽しめたことや学べたことは沢山ありました。

空港では楽しみな気持ちもありましたが、中学生の時に飛行機に乗った時、睡を何度のもでも耳が詰まって痛くなってしまうので、また耳が痛くなる不安がとても大きく落ち着きませんでした。

1日目の最初に行った場所は飛鳥寺でした。入ってすぐに大仏があり、お坊さんの話を聞きました。大仏のポーズの意味や、寺や大仏の歴史についての話でした。その後、寺の外や中を自由に周ることが出来ました。

2日目には薬師寺に行きました。薬師寺のお坊さんの話がとても面白く、印象が強かったです。次に奈良公園に行きました。奈良公園には鹿が沢山いて、車に轢かれないかとても心配になりました。鹿せんべいを買ったり、鹿がすごい勢いで集まってきたり、人と話している間に突然近づくので何回も驚かされました。

3日目は姫路城と平和記念公園に

行きました。姫路城はガイドの人に付いて城内を回りました。姫路城は遠くから見るととてもかっこよく、天守の中から見てもまわりの景色がとても綺麗でした。平和記念公園は、とても広かったので歩くのが疲れて大変でした。公園内にある平和記念資料館では、被爆者の遺品などの展示がありました。

4日間のうち自由時間は3回ありました。奈良の自由時間は近くにいろいろな店があり、お土産が買いやすかったです。京都駅は、見た目が近未来的でとても広く天井が高く、都会を感じました。少ない移動でお店が多かったので回りやすかったです。広島駅では周りに回れるお店がなく、駅内のお店でしか買えませんでした。

《感想のまとめ》

- ・新幹線は常に耳が詰まって不快だった。
- ・どこのホテルのごはんも弁当も梅干しやたまごばかりだった。
- ・自分の好き嫌いを強く実感した。
- ・GOTOクーポンを使い切るのが大変だった。



1年間を振り返って



1学年
狩野 智 彩

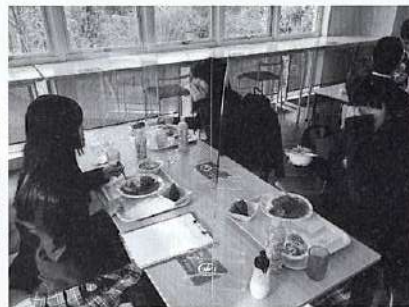
この1年は新型コロナウイルス流行のため、いろいろと忙しい1年間でした。中学校の卒業式もちゃんとできず、入学式も時間短縮という形でしたが、入学式がなかった学校もあるので、コロナの感染者が増え続ける中でできて本当に良かったです。これから3年間一緒に生活する仲間たちに出会い、友達を頑張って作ろうと思っていました。しかし、人見知りの私は、初日は怖くて新しいクラスメイトに話しかけることができず、同じ中学校から来ている人達で集まってしまう。でも日が経つにつれて少しずつ話せるようになりました。

高校に入ったら部活動はやりたいたいと思っていたので「茶道部」に入りました。作法を覚えることも大変でしたが、私は左利きなので、右手で作業すること、特に右手で箸を持つてお菓子を取るのには苦労しました。でもだんだん慣れてきました。先生方も先輩方もとても優しく教えてくれるのでこれからも部活動を頑張っていこうと思います。

全然考えてもいなかった生徒会執行部に入り、自分は生徒会に向いているのだろうかとても不安でした。生徒会に入ってから初めての仕事が体育大会。まだ3年生の先輩がいたので、「大変、忙しい」とはあまり思いませんでした。でも私は今回クラスTシャツを作ることにもなっていたので、二つの仕事を同時にするの

は少し大変でした。6月に予定されていた宿泊研修が中止になってしまったので、この時、初めてクラスの皆と協力し合える行事ができ、初めて仲間と思いつくを作ることができました。

高校に入ってから一番心配だったのはテストです。中学の時のテストはずっと得意教科にしか手をつけず、苦手教科は少しもやらなかったもので、あまり良い点数が取れませんでした。でも高校では成績が悪いと留年してしまうかもしれないので、全教科に手をつけ、たくさん努力しました。初めて全教科に取り組んだのですごく疲れました。初めてのテスト、すべて受け終わった後は「やっと終わった」と思う気持ちはなく、「点数が悪かったらどうしよう」と不安な気持ちでいっぱいでした。テストが全部返ってきた



て、まあまああの点数だと分かってやっと安心しました。後期中間テストも全教科に力を入れ頑張りましたが、数学で力をつけ忘れ、6点落としてしまいました。ちゃんと見直しをしてあげれば良かったと後悔しています。次のテストでは気をつけようと思います。

そして、テストの次に心配なのは検定です。11月に電卓検定を受け、なんとか合格しました。冬休み明けに簿記と情報処理検定があるので合格できるように勉強を頑張ります。

これから生徒会の仕事も忙しくなりますが、部活動も勉強も頑張っていきたいと思っています。

令和2年度 PTA・文体後援会活動

- 4月8日(水)
奈良江商業高等学校PTA・文体後援会入会式
- 4月18日(土)
奈良江商業高等学校PTA・文体後援会総会・書面審議
- 4月
奈良江町PTA連合総会・中止
- 5月5日~7月
第1回~第3回 PTA・文体後援会役員会・中止
- 5月
高P連空知支部大会・中止
- 6月
全道高P連大会・中止
- 7月11日(土)~12日(日)
学校祭参加協力・学校祭中止
- 9月14日(月)
臨時PTA・文体後援会役員会
↓10月2日(金)の体育大会終了後のイベント協力について協議
- 9月30日(水)
PTA会報「實根」(第130号)発行
- 10月2日(金)
体育大会終了後のイベント協力
↓抽選会・花火打ち上げ
- 12月2日(水)
奈良江町教育の明日を考える集い 兼 奈良江町PTA連合会研修会参加
- 3月1日(月)
PTA会報「實根」(第131号)発行
- 3月中旬
第4回PTA・文体後援会役員会(予定)

**「自分新発見。
夢、奈商で。」**

ようこそ

奈井江商業高校へ

卒業おめでとう 奈商プライド 輝く未来へ新たな挑戦!【自主・和協・希望】



上級学校見学



体育大会



生徒会役員選挙



課題研究発表会



奈井江町教育の明日を考える集い



町長と語る会



球技大会



調理実習(3年)



性の指導・妊婦体験(2年)